

## 臨床研究についての説明書

当院では診療の質向上のため、患者様の診療データを用いた研究を行なっております。

【研究課題】サルコペニア患者の食事場面にける作業療法評価の必要性

－OT Evaluation in Mealtime Situation for Patients with Sarcopenia－

【研究責任者】新上三川病院 リハビリテーション科 作業療法士 関口 峻介

【研究期間】2025年8月1日～2026年1月31日

【研究対象となる方】当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、AWGS2019の基準によりサルコペニアと判定された方を対象とします。

【研究意義、目的】サルコペニア患者では、低栄養や嚥下機能低下が問題となります。回復期リハビリテーション病棟では、言語聴覚士等により摂取量や嚥下機能を中心とした評価は行われておりますが、姿勢・環境・操作性など生活行為としての食事の質的側面は十分に評価されていない可能性があります。本研究では、食事評価シートを用いて、サルコペニア患者における食事場面の問題を明らかにし、食事評価の必要性を検討することであり、今後の作業療法の一助となることを期待しています。

【研究方法】2025年8月から2026年1月に回復期リハビリテーション病棟に入院し、AWGS2019の基準によりサルコペニアと判定された方を対象とします。作業療法士が食事評価シートを用いて昼食時に介入し、姿勢・環境・嚥下機能について食事評価を実施します。一部症例においては、担当理学療法士が同評価シートを用いて実施します。経口摂取が困難である経鼻経管栄養症例は評価適用外とします。入院時FIMで食事が6-7点であり、栄養状態及び臨床的に食事場面の課題が認められない症例は、詳細評価を省略可能と判断します。食事評価後、問題抽出率及び評価実施状況について記述的に検討します。

【研究方法】この研究は、当院倫理委員会の承認後、病院長の許可を受けて実施いたします。後方視研究であり、国の『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』に基づき、実施いたします。電子カルテに記録・保存されている診療データ等を収集して行う研究です。参加される皆様に対し新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】この研究により収集される診療データ等は、外部漏洩防止のため、慎重に取扱う必要があります。診療データ等は個人識別が出来ないよう、氏名・生年月日等を削除し、代わりに研究用の符号をつける処理を行います。収集データは本研究担当者または研究分担者が集約・データ化を行い、データに関しては、パスワード設定を行い保管いたします。ただし、必要に応じ、符号を元の氏名等に戻す処理を行い、結果をお知らせすることも出来ます。研究結果は、個人が特定できない形式で学会や論文等で報告いたします。研究終了後、収集したデータは厳重な管理のもと、当該論文等の発表後10年間保管いたします。

【研究対象への拒否】研究対象になることを拒否される場合は、2026年10月31日までに下記連絡先へご連絡ください。ご連絡が無い場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、本研究を拒否された場合でも、不利益は生じません。

【資金源】本研究において資金は発生いたしません。また、研究対象者に係る金銭負担、謝金はございません。

【利益相反】本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

<お問い合わせ先（研究責任者）>

新上三川病院 / 住所：栃木県河内郡上三川町上三川 2360 番地 / 電話：0285-56-7111

所属：リハビリテーション科 / 氏名：関口 峻介